

2021年度 評価結果（専門機関評価）

No.	団体名	評価対象 事業年度	事業名	評価結果	評価者
1	①世界海事大学、(公財)笹川平和財団 ②大洋水深層図(GEBCO)指導委員会 ③ブリティッシュコロンビア大学(ワシントン大学)	①1998～2020 ②2003～2020 ③2010～2020	①世界海事大学笹川奨学プログラム (日本財団寄附講座の実施・海洋関連分野に係る国際協力推進) ②大洋水深総図に関する専門家の育成事業 ③ネレウス・プログラム(「海洋ネクサス・プログラム」)	A S S	(一財)CSOネットワーク
2	(任)手話パフォーマンス甲子園実行委員会	2014～2020	手話パフォーマンス甲子園の開催	A	PBEE研究・研修センター 大島巖
3	(任)震災がつなぐ全国ネットワーク	2016～2020	日本国内における災害時緊急支援	A	インタラクティブ・アソシエイツ
4	(一社)みうら学・海洋教育研究所	2016～2019	「海洋教育の町 三浦」の実現を目指して 小・中学校における体系的・永続的海洋教育カリキュラムの開発と実践	A	インタラクティブ・アソシエイツ
5	(特)ピッコラーレ	2016～2020	妊娠SOS相談窓口の運営	S	公共価値創造研究所
6	(一社)ImpacTech Japan	2018～2020	社会起業家向け創業支援プログラム	B	公共価値創造研究所
7	鳥取県、日本財団	2016～2020	鳥取県×日本財団共同プロジェクト	A	(株)日本総合研究所
8	(任)アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	2012～2020	アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 日本財団フェローシップ	A	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

■評価結果（状態）

レベルS：秀逸である 目標を上回った上に、予期せぬ有効な副産物があった。
レベルA：優良である 目標を上回った。（もしくは）目標通りだったが、予期せぬ有効な副産物があった。
レベルB：標準的である 目標通りだった。
レベルC：改善すべき問題がある 目標を下回ったが、予期せぬ有効な副産物があった。
レベルD：劣っている 目標を下回った。